

インターネットの普及とともに急速に業績を伸ばしてきた米国シスコ・システムズ社。
同社の副社長エドワード・コゼル氏が来日した機会に、その秘密とネットワークビジネスの現状についてお話をうかがった。

Edward R. Kozel

米国シスコ・システムズ社副社長

① 驚異的な成長率を誇る超優良企業

アメリカ・カリフォルニア州に本拠を構えるシスコ・システムズ社は、インターネットや企業内ネットワークの構築に欠かすことのできないルータやその関連ソフトを開発・販売している企業だ。設立以来、業績の伸びはすさまじく、売り上げはここ数年の間、対前年比で常に2倍前後という高率で推移している。1995年の推定売り上げ高はおよそ20億ドルに達する見通しだという。

すこし前のことになるが、定評ある経済誌「フォーチュン」で高成長企業として上位にランキングされるという栄誉にも浴した。アメリカンドリームの典型ともいえる企業である。

① ネットワークを巻き込んだダウンサイジングの波

数年前までシスコ・システムズが狙ったビジネス・ターゲットは、明らかに大企業中心のものであった。製品もそうした大企

業を意識して、グレードの高い高機能なものも多くラインアップしてきた。

しかし、ネットワークとその周辺市場は、ここ5年ほどの間で大きく変化した。それまで、企業ネットワークといえば、どうしても規模が大きくなるため、導入にかかるコストもそれなりに多額になってしまうのが普通だった。ところが、パソコンのパフォーマンスがここ数年で急速に向上し、上位のコンピュータを脅かしはじめたのだ。数年前に流行語にもなったダウンサイジングの波である。このダウンサイジングは、アメリカの企業で、LANやインターネットを普及させる起爆剤にもなった。

① パソコンの台頭に素早いアプローチ

パソコンの台頭とLANの普及という市場の大きな変化で、ルータなどネットワーク製品も、よりリーズナブルなモデルが要求されるようになってきた。ルータの場合、ほ

んの数年前までは100万円を超えていても当然と思われてきたが、最近では機種にもよるが1/3程度にまで価格は下がってきた。

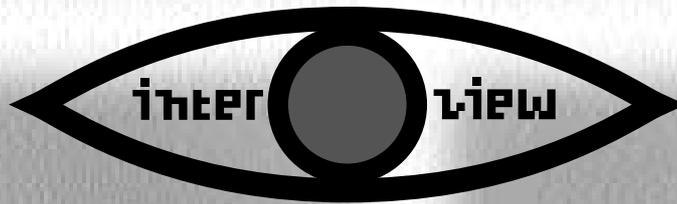
こうしたシンプルな製品への取り組みも同社はいたって積極的だ。ニューポートシステムを買収するなど、技術的な面で体力強化も怠りない。カード型のルータなど、新たな製品も市場に投入してきた。

こうしたリーズナブルな製品は、中小の企業やパーソナルユーザーに高い評価で受け入れられている。現在では、同社のルータは、デファクト・スタンダードとして認められるようになった。

このほか、同社ではイーサネットスイッチやATMスイッチなどの製品にもアプローチしている。いずれも大きなマーケットシェアを獲得しているということだ。

① 日米のネットワークの違いを認識

日本とアメリカで通信環境が大きく違う



ことはコゼル氏も認識している。特に気になるのは政府による規制の厳しさだ。規制があまりにも厳しいと、アメリカのようにインターネットが成長しないではないかと心配する。アメリカでは安い料金のネットワーク・サービス・プロバイダーが多く存在するが、日本はまだまだこれから。ましてやインターネットを利用してのビジネスとなると、一部にその萌芽は見られるが、大方の企業で模様眺めの状態が続いている。本格的にデジタルデータの販売や通信販売といったものがインターネットで利用できるようになれば、日本でもビジネスとして確立するとコゼル氏は考えているようだ。そのためには規制緩和も大切だが、“新規事業”に挑む企業へのバックアップなども、何らかの形で必要になってくるのではなからうか。

① 大型計算機もTCP/IPへ置き換えを狙う

アメリカに比べて未成熟な市場に、いち早くシスコ・システムズ社は日本シスコシステムズ(株)を1992年に設立した。

日本シスコシステムズ(株)の設立目的は、これから期待される日本市場に米シスコ・システムズの開発した各種のネットワーク製品を販売したりサポートしたりすること。自社の製品を商社などに任せてしまわず、開発から製造販売にいたるまでグループ企業の責任において行うわけだ。企業として日本のネットワーク市場に力を注いでいることの表れともいえるだろう。

これまで、日本では大企業を中心にSNAなど大型計算機のプロトコルによって企業ネットワークが構築されてきた。これをそう遠くない将来にTCP/IPへ置き換えることを狙っているという。プロトコルをTCP/IPに共通化できれば、ネットワークを導入している企業にとって、ネットワーク構築や回線コストの削減など多くのメリットを生

む。そうした点をアピールして、日本のネットワークに変革をもたらそうというのが、日本シスコシステムズの将来を見越した長期的な戦略である。

① 全世界を結ぶネットワークの構築が夢

最後にコゼル氏に今後の夢についてうかがった。すると、全世界を結ぶネットワークの構築が夢という壮大な答えが返ってきた。何とも大きな夢と思われそうだが、本人はいたって真剣である。

パソコンによるダウンサイジングで、ネットワークの環境はさらにパーソナルレベルにまでおりてきた。そんな市場の変化を敏感に捉え続けることができれば、シスコ・システムズの将来は間違いなく明るいし、コゼル氏の夢もがぜん現実味を帯びてくるのではなからうか。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp